

# 琴浦町・安田地区における お出かけ・生活のしやすさ向上プロジェクト

中央大学研究開発機構 秋山研究室

1

## 目次

	スライド番号
1. 安田地区の概況（お出かけ環境の課題）	…3
2. 交通の改善方針（ドライバー不足対応、タクシー連携）	…7
3. みなさんとの協働（いっしょに利用し、育てていきませんか）	…8
4. 今後のスケジュール	…9

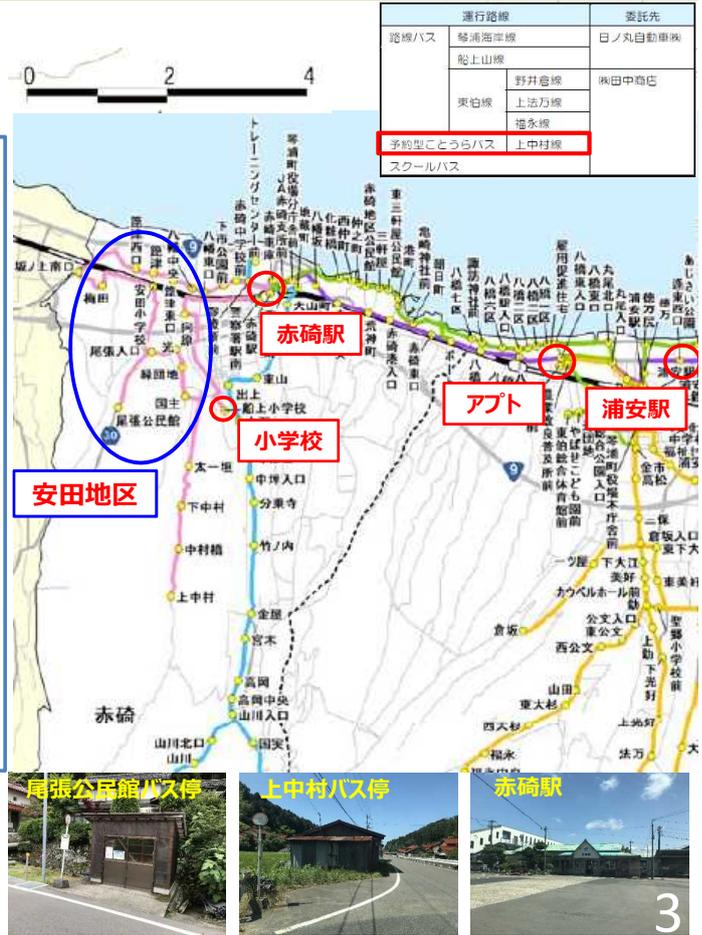
2

# 1. 安田地区の概況（お出かけ環境の課題）

## (1) 地域概況

### ○琴浦町・安田地区

- 人口世帯：1,151人
- 立地状況：琴浦町西部  
尾張から赤碓駅までデマンドで約4km18分  
商業施設（近隣のAコープ等、赤碓駅周辺）、医療施設（赤碓クリニック等赤碓駅周辺）  
学校利用は小学校が船上小学校（成美地区）、中学生（赤碓中学校）は自転車
- 既存交通：町運営の上中村線（デマンド）  
※便によってスクールバス機能も持つ  
タクシー（1事業者1営業所）
- 課題認識：
  - ・ **ドライバー不足**による路線存続の危機（3年の猶予）→ **ドライバー確保は急務**
  - ・ **限られた便**（1日4.5往復 [すべてデマンド]）
  - ・ **町営バス・デマンドの収支率の低さ**：収支率、バスは14%、デマンドは6%

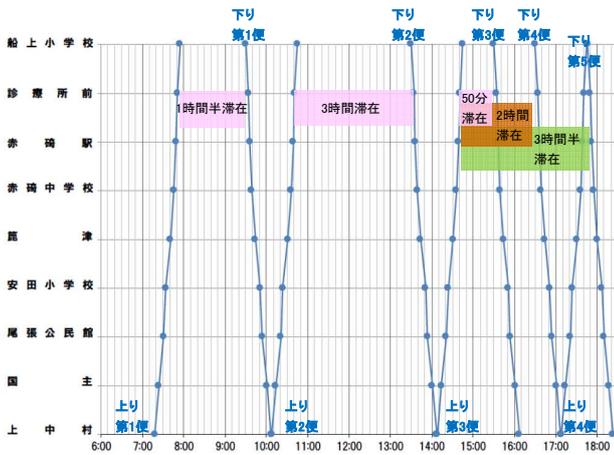


琴浦町・安田地区への対応方を構築する（4つの視点）

- 対応する交通システム
- 情報・決済システム
- 財源・制度
- 地域体制（事業者、住民、行政）

## (2) 安田地区の交通の概況

- 安田地区の公共交通のサービス状況
  - ・上中村から船山小学校に向かう上りが4便、船山小学校から上中村に戻る下りが5便
  - ・地域住民の買い物利用、通院利用を考えた場合、以下のような滞在イメージとなる
- 赤碓駅周辺(Aコープ、クリニック、診療所)の利用を考えた場合の滞在可能性



診療日と時間	午前	午後
月	7:30 - 12:00	1:00 - 5:30
火	7:30 - 12:00	1:00 - 5:30
水	7:30 - 12:00	1:00 - 5:30
木	7:30 - 12:00	1:00 - 5:30
金	7:30 - 12:00	1:00 - 5:30
土	8:30 - 12:00	
日		
祝祭日		

月・火・水・木・金・土	9:00～12:30 16:00～18:00
水	9:00～12:30

→午前の通院を考えた場合に帰宅便が不足  
午後は利用の選択肢がある

月～日	9:30～20:00
-----	------------

→午後～夕方において滞在時間より利用可能と考えられる  
営業時間より第2便からの利用となるが帰り便が不足

→午前は行き帰りの利用困難  
午後も行きの利用が困難

買い物利用は考えられるが  
通院利用は困難

- 地域住民の移動実態や意向【ヒアリング結果(n=203)】
  - ・週5日以上のお出掛け者が多数（買い物移動が全体として多い）、自分で運転が多数
  - ・買い物は町内に週に1・2回
  - ・外出の負担は多数が負担に感じることがない
  - ・運転が出来なくなった場合の将来の外出に対する不安、不便さの意見（ただし将来像）
  - ・バス利用は9割以上がない
  - ・共助として近所の方を乗せるという行動は可能

- ドライバー不足による運行継続の危機(→現在の契約期間3年の後の対応方法を構築する必要性)

### (3) 地域の方との意見交換

#### ■実施概要

- ・琴浦町、安田地区における移動に関する現状を把握するため、住民ヒアリング調査を実施しました。(令和元年度実施)

※みなさまのご協力、ありがとうございました。



実施日	6月12-13日	7月18日	8月22-24日	合計
人数	24人	57人	122人	203人

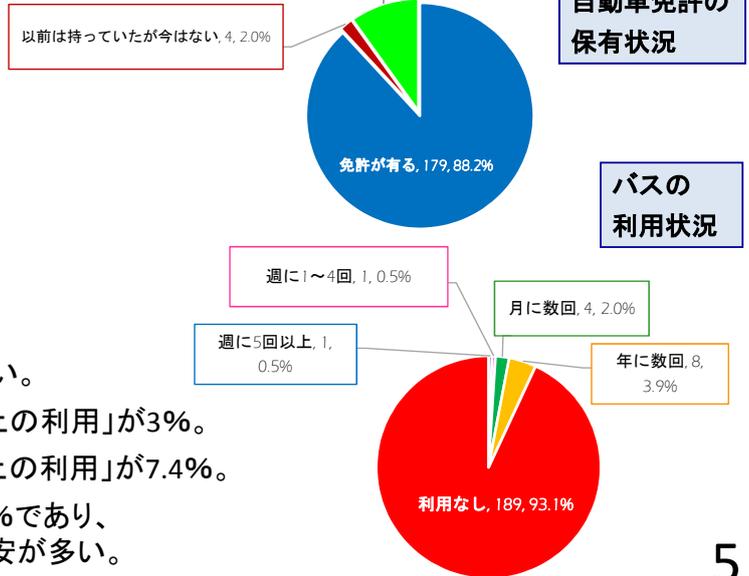
#### ■結果概要

##### 【回答者の属性】

- ・65歳未満が37.4%である。  
前期高齢者(65~74歳)38.4%、  
後期高齢者(75歳以上)23.6%
- ・88.2%が自動車免許を保有している。

##### 【主な調査結果】

- ・外出の目的は買物、通勤・通学の割合が高い。
- ・バスは「**利用なし**」が**93.1%**、「月1回以上の利用」が3%。
- ・タクシーは「**利用なし**」が**77.3%**、「月1回以上の利用」が7.4%。
- ・近所の人を乗せることが可能な割合は63.7%であり、乗せることが可能でない理由は、事故の不安が多い。

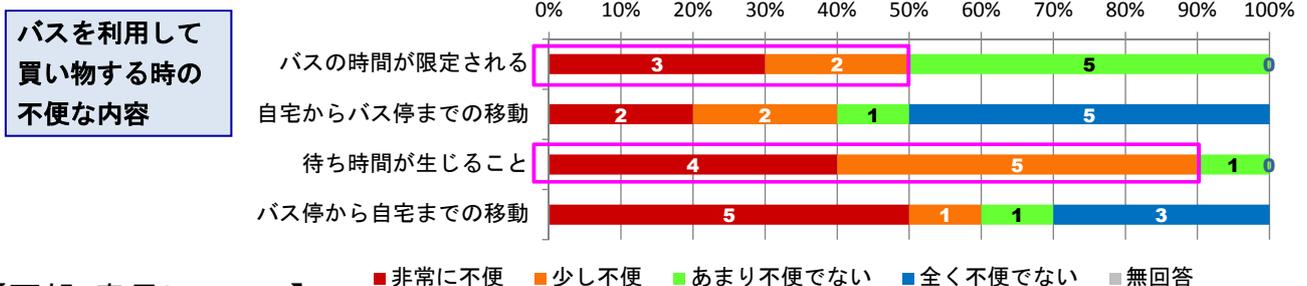


5

#### ■結果概要

##### 【買物について】

- ・買物の移動手段は約97%が自家用車(乗せてもらうことも含む)の利用であり、約3%がバス等の公共交通機関または徒歩の利用である。
- ・移動手段と買物頻度の関係についてみると、「週1回未満」は、自家用車では12%に対して、公共交通では28.6%である。 (→公共交通利用者は買物頻度が低い)
- ・移動手段と買物時間の関係についてみると、自家用車では「1時間未満」が約73.8%に対して、公共交通では「1時間以上」が約57%である。 (→公共交通の場合は所要時間を要する)
- ・バスを利用している人が感じる買物の負担や不便について、「非常に不便」と感じる割合は「待ち時間が生じること」が90%で最も高く、次いで「バス停から自宅までの移動」(買物荷物を持っての移動)が70%となっている。 (→利用のしやすさの対応が求められる)



##### 【要望・意見について】

- ・デマンドは予約が面倒、思い立った時に乗れない。
  - ・買物や通院が便利になるように、本数を増やして欲しい。せめて午前と午後で一往復ずつほしい。
  - ・スクールバスの混乗はやめて欲しい。
  - ・バス停が遠いためそこまでの移動が大変である。
  - ・タクシーも混んでいて配車されない時がある。
- (→デマンド交通の予約、利用方法の改善が求められている)

6

## 2. 交通の改善方針（ドライバー不足問題対応、タクシー連携）

### (1) 改善方針

●朝夕は通学対応、日中は生活対応のシステム（朝夕の定時定路線は継続）

●日中は住民ドライバー型ドアツードア（ドライバー供給力不足解消策 + タクシーとのすみ分け）

安田地区及び成美地区の一部（町営バス上中村線）のエリアで住民ドライバー利用型のデマンド交通の実証実験について、日本交通から了承を受けた【琴浦町より】

●供給マネジメントシステムの構築（住民ドライバーの供給仕組みづくり）

時間帯により運行形態を変更します

朝夕：バス車両による定時定路線運行

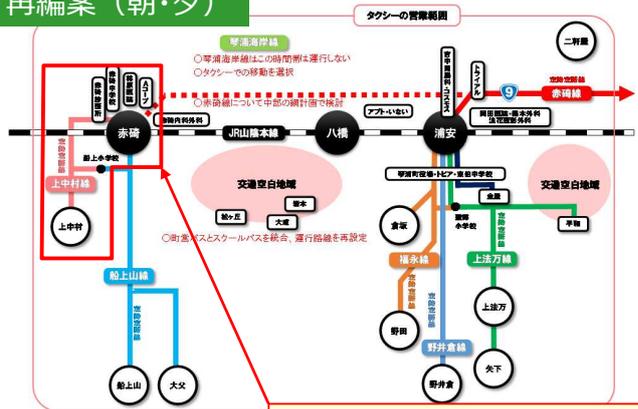
- 通勤・通学のための移動
- 路線バスとスクールバスを統合し効率的なルート編成
- 運行に必要なバス車両台数を削減(2~3台)
- 車両は中型バス等に順次更新

昼間：デマンド交通を主体とした移動を提案

- 買い物・通院のための移動
- 琴浦海岸線のみ中型バス車両により定時定路線運行
- その他の路線はデマンド運行に切り替え
- 将来的には住民登録ドライバーや共助交通を活用

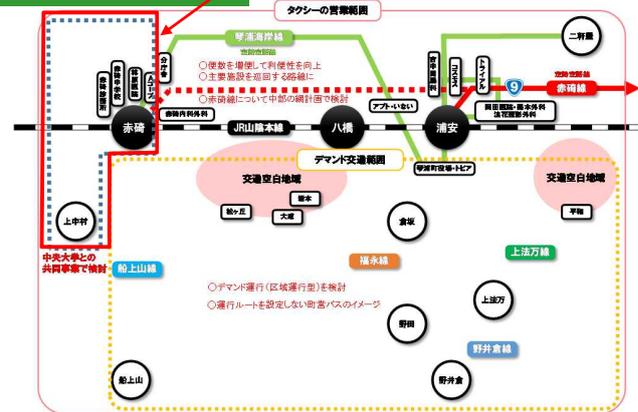
再編案（朝・夕）

【6:00~8:00】【16:00~20:00】



安田地区及び成美地区の一部（町営バス上中村線）のエリア

再編案（8:00~16:00）



## 3. みなさんとの協働（いっしょに利用し、育てていきませんか）

### 2020年度改善の取り組みに挑戦します

**必要な要素**

**安田地区お出かけ創出プロジェクト**

- ・住民ドライバーによる日中運行方式
- ・予約および供給システムの構築
- ・地域の皆さんと一緒に育てていく

**交通統合**

- 住民ドライバー対応エリア設定(タクシーとすみ分け、連携)
- エリア別対応
  - ・鉄道沿線北部（タクシー対応）
  - ・南部郊外部（住民ドライバー対応）

**制度**

- 時間帯別対応
  - ・朝夕（スクール対応）
  - ・日中（デマンド・タクシー対応）
- ドライバー不足解消
- 住民ドライバー対応

**情報・決済**

- 住民ドライバー供給+住民利用の相互システム構築
- 住民ドライバー管理
  - 住民ドライバーによるタクシー運行（供給）のスケジューリング、および出動要請
- 相互マッチ
- 利用者の予約
  - 利用希望者によるタクシー利用（需要）のスケジューリング、利用依頼

**ヒト**

- 人づくり、住民協力(安田地区1,151人がターゲット)
- みなさんと一緒に利用、支援する体制づくり

### 実現に向けて今後調整していきます

**調整事項1**（朝夕はスクールと統合した定時定路線、日中はデマンド交通[住民ドライバー実証運行]）

運行形態の変更(日中)

自家所有有償運送(交通事業者協力型)

**調整事項2**（ドライバー側・供給システム準備）

- 住民ドライバー
  - ✓住民ドライバーの供給可能時間の管理（当番制によるサービス確保方策の検討）
  - ✓利用者とのマッチング
  - ✓タクシー等多様な交通との連携方策の検討

**調整事項3**（利用者側・予約情報システム準備）

- 利用者
  - ✓デマンド交通が使いづらい(予約や到着時間帯が不明確)ことへの改善
  - ✓住民ドライバー供給とのマッチング
  - ✓タクシー等多様な交通との連携方策の検討

**調整事項4**（地域の皆さんとの体制）

- ✓買い物お出かけのデマンド利用、声かけ
- ✓地域活動と公共交通利用の融合
- ✓中心部の待合環境等の整備(施設連携)

## 4. 今後の進め方

### 調整事項1

(朝夕はスクールと統合した定時定路線、  
日中は「デマンド」交通(住民ドライバー実証運行))



### 調整事項2

(ドライバー側・供給システム準備)



### 調整事項3

(利用者側・予約情報システム準備)



### 調整事項4

(地域の皆さんとの体制)



**【事前準備】**・2020年1月～2月に庁内、地域、事業者との調整  
・3月～9月に再編、実施準備、地域の皆さんへの説明、協力依頼

運行システム・ダイヤ調整  
運行の見直し手続き  
地域住民への説明

住民ドライバーの確保  
供給システムの構築  
住民ドライバー教育

デマンド予約及び運行調整  
予約情報システムの構築  
地域住民への説明

利用方法の周知  
地域支援体制の協働検討  
運行時の利用体制の構築

この準備がポイント

### 【実証実験】

2020年度において改善の取り組みの実験を行います(2020年度下半期目標)

### 【検証と展開】

実験結果を検証し、本格実施化、琴浦町内への展開を検討します